

**政策 61 計画の推進に当たって**

**施策 01 市民との協働のまちづくりの推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、NPO等	市民との協働によるまちづくりを推進しています。

**施策の成果状況と評価**

指標	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	68.6	-	71.2	→
評価	(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は71.2%で、前回の実績値に比べ2.6ポイント向上しています。年齢別では、20代が59.2%で、平均より12%低くなっていますが、70代以上では77.1%と高い数値となっています。						目標 達成度
	(原因) 年代によってばらつきはあるものの、全体として数値が向上しているのは、ふるさとづくり支援事業や、サポセンフェスティバル等により、市民や地域活動などが理解されつつあり、市民との協働の意識が高まっていることが要因と思われます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

## 基本事項の成果状況と評価

### 基本事項 01 市民との協働の推進

### 基本事項 02 広報広聴の推進

#### 基本事項01 市民との協働の推進

指標	市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%		55.9	56.1	→
評価	(状況) 市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合は56.1%で、前年度に比べ0.2ポイント増のほぼ横ばいです。職員アンケートでは、474人中45人が「実践している」、221人が「どちらかといえば実践」と回答し、全体の56.1%が市民参画や協働を日常業務で実践している状況です。 (原因) 平成22年度に職員向け協働ガイドブックを作成し、説明会を行ったほか、市民との協働のまちづくり(概要版)を作成し、配布したことで理解されてきていると思われませんが、一方でアンケートに記載された意見を見ると、業務によっては、市民参画が日常業務で実践できない職務があることも要因として考えられます。						目標達成度 ---

#### 基本事項01 市民との協働の推進

指標	NPO・ボランティア団体数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	団体数	114	109	112	→
評価	(状況) NPO・ボランティア団体数は112団体です。前年度に比べ3団体増え、成果が向上しています。 (原因) 平成27年度から実施しているサポセンフェスティバル等の効果により、市民活動やボランティアへの理解が深まってきていることが原因と考えられます。						目標達成度 ---

#### 基本事項02 広報広聴の推進

指標	市広報紙「広報すかがわ」の情報内容に関する満足度	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【秘書広報課】	%	93.0	-	93.5	→
評価	(状況) 「広報すかがわ」の情報内容に関する満足度は93.5%で、前回のアンケートと比べ0.5ポイントの増となっています。内容を見ると、「満足」9.1%、「やや満足」22.7%、「ふつう」61.7%で、概ね市民の皆さんの満足は得られています。なお、年齢別、地区別に大きな差はありません。 (原因) 市政情報や行政サービスについて、分かりやすい紙面づくりに取り組んでいることが要因と考えられます。						目標達成度 ---

#### 基本事項02 広報広聴の推進

指標	月1回きちんと市広報紙「広報すかがわ」を読んでいる市民割合(市の情報提供手段の利用状況)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【秘書広報課】	%	64.9	-	64.5	→
評価	(状況) 月1回きちんと市広報紙「広報すかがわ」を読んでいる市民割合は64.5%です。「年に数回程度読んでいる」の22.1%を合わせると86.6%となり、多くの市民の皆さんに読まれています。「読んでいない」と回答があった年代別では、20~29歳が31.2%で、若い年代ほど高い傾向にあります。 (原因) 町内会などを通じて配布しているほか、公共施設をはじめ、病院や金融機関、大型ショッピングセンターなどにも配置し、多くの皆さんが入手できるように取り組んでいます。さらに、ホームページやスマートフォンから検索して見れるよう、情報発信していることが要因です。						目標達成度 ---

# 基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 市民との協働の推進

基本事項 02 広報広聴の推進

## 基本事項02 広報広聴の推進

指標	市民提案のうち実現した提案割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき										
		【秘書広報課】	%	44.0	34.3	37.1	→	☀ (向上)									
評価	<p>(状況) 市民提案のうち実現した提案割合は37.1%で、前年度に比べ2.8ポイントの増となっています。</p> <p>(原因) 市民提案を受けて市が対応した内容は、市の施設に関することが9件、道路に関することが7件などとなっています。市では、施設の利用方法の改善や道路の破損修繕など、利便性向上や緊急性のある提案の実施に取り組んでいます。</p>	<table border="1"> <caption>実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>28.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>34.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>37.1</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H25	28.3	H26	44.0	H27	34.3	H28	37.1	目標 達成度
年度	実績値 (%)																
H25	28.3																
H26	44.0																
H27	34.3																
H28	37.1																
							---										

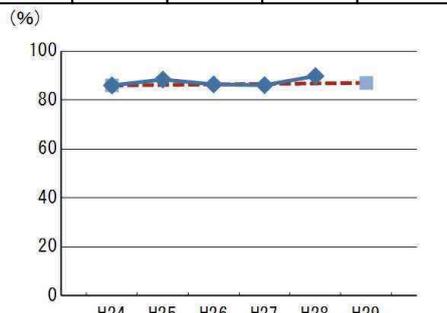
政策 61 計画の推進に当たって

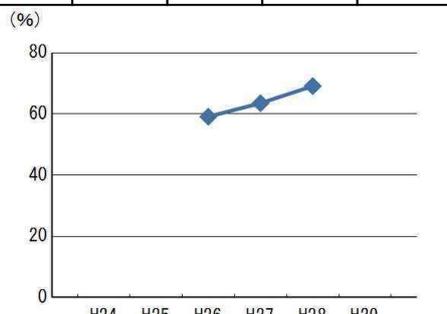
施策 02 行財政改革の推進

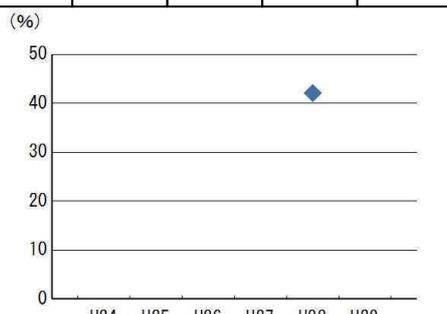
施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市	健全な財政運営に努めるとともに、将来にわたり安定した行政経営ができています。

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき	
		【企画財政課】	%	86.4	86.1	89.8	→	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 経常収支比率は、財政構造の弾力性をあらわす指標で、経常一般財源に対する経常経費充当一般財源の割合から算出されます。90%を超えないことが望ましいとされており、本市は90%を下回っており、平成28年度は前年度に比べ3.7ポイント上昇しました。(原因) 平成28年度は、経常一般財源等の普通交付税、臨時財政対策債、地方消費税交付金が前年度より大きく減額となったことなどにより、指標が上昇しました。</p>							目標達成度 ■■■ (高)

指標	効果的で効率的な行財政運営（行政経営）が進められていると思う職員の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき	
		【企画財政課】	%	59.1	63.5	69.1	→	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 効果的で効率的な行財政運営（行政経営）が進められていると思う職員の割合は、「そう思う」が5.7%、「どちらかといえばそう思う」が63.4%で、69.1%が肯定的意見となり、前年度に比べ5.6ポイント向上しました。職位別の動向に変化はなく、課長以上が84.3%である一方、主幹以下は60%台にとどまっています。(原因) 平成28年度から事務事業評価に加え、施策・基本事項評価に取り組み、市政経営会議において施策成果動向審議を行うなど、これまで以上に成果を意識した行政運営に取り組んできたことが原因と考えられます。今後も、行政評価の考え方を浸透させるとともに、コスト意識を醸成し効率的な行政運営に取り組むことが必要です。</p>							目標達成度 ---

指標	総合計画成果指標向上割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき	
		【企画財政課】	%		-	42.1	→	---
評価	<p>(状況) 総合計画成果指標「向上」の割合は、成果指標が「向上」は128件あり、全体で42.1%となりました。「子育て支援の充実」「防災都市基盤の整備促進」「快適都市空間の創出」「安心安全な水」の施策の向上数が最も多く7件、次いで「農林業生産環境の充実」の施策が6件となった一方で「企業誘致の促進」は「低下」が3件に対し、「向上」は0件となっています。(原因) 前年度の審議結果を踏まえた評価で、優先度の高い施策において、向上の割合が高くなる傾向となっており、優先度を設定する施策推進手法の有効性が表れていると考えられます。</p>							目標達成度 ---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

## 基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	行政サービスの向上
基本事項 02	職員資質の向上
基本事項 03	計画行政の推進
基本事項 04	自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05	持続可能な財政運営の推進

### 基本事項01 行政サービスの向上

指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	85.9	-	87.7	→	(横ばい)
評価	(状況) 市役所が提供するサービスに満足している市民の割合は、「満足」が6.9%、「やや満足」が15.6%、「ふつう」が65.2%で、87.7%が肯定的な意見となり、26年度実績値に比べ1.8ポイント上昇しましたが、統計誤差の範囲で横ばいとなりました。年齢別では、20代が最も低く82.9%でしたが、年齢が上がるにつれ増加し、40代及び60代以上は概ね9割程度になっています。地区別では、長沼地区が84.3%で最も低く、次いで岩瀬地区が85.9%、小塩江地区が86.0%となる一方、大東地区、稲田地区、仁井田地区は9割を超えました。(原因) 合併後の環境変化などが影響していると考えられます。						目標達成度
							---

### 基本事項01 行政サービスの向上

指標	行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できる組織になっていると思う職員割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	61.9	58.5	63.6	→	(向上)
評価	(状況) 行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できる組織になっていると思う職員割合は、「そう思う」が3.8%、「どちらかといえばそう思う」が59.8%で、63.6%が肯定的意見となり、前年度に比べ5.3ポイント向上しました。職位別にみると、課長以上が72.5%と最も高く、主幹以下は60%台となっていますが、係員においては、前年度に比べ6.9ポイントと最も向上しました。(原因) 東日本大震災から6年が経過し、復旧・復興関連事業が一段落しつつあることが、向上の一要因であると考えられます。新庁舎の整備により、さらに向上の余地があるものと考えられます。						目標達成度
							---

### 基本事項01 行政サービスの向上

指標	組織内・組織間連携が取れていると思う職員割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	42.2	42.1	47.8	→	(向上)
評価	(状況) 組織内・組織間連携が取れていると思う職員割合は、「そう思う」が4.5%、「どちらかといえばそう思う」が43.3%で、47.8%が肯定的意見となり、前年度に比べ5.7ポイント向上しました。職位別に見ると、課長以上が最も高く58.8%である一方、係員は45.6%にとどまっています。(原因) 全体として半数を下回る状況にある主な要因としては、平成28年度までは庁舎機能が分散していたため、組織間連携が図りづらい環境にあったことが挙げられます。						目標達成度
							---

### 基本事項02 職員資質の向上

指標	職員数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【人事課】	人	573	577	582	→	(低下)
評価	(状況) 平成28年3月に策定した定員適正化計画により、平成27年から平成36年の10年間で再任用を除く正職員を12人削減し、再任用職員を含めた総数を平成27年度と同数とすることを目標に取り組んでいますが、平成28年度の職員数は582人で、前年度に比べ5人増加しました。(原因) 新たな行政課題や増大する福祉需要に対応するため、再任用を除く正職員は29人の退職に対し、27人採用したため2人の減にとどまりました。再任用職員については、希望者の増加により7人の増となりました。						目標達成度
							---

## 基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	行政サービスの向上
基本事項 02	職員資質の向上
基本事項 03	計画行政の推進
基本事項 04	自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05	持続可能な財政運営の推進

### 基本事項02 職員資質の向上

指標	ラスパイレス指数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【人事課】	99.4	100.2	102.0	→	☀ (向上)
評価	(状況)ラスパイレス指数は、平成28年度は102.0となり、平成27年度の全国市平均99.1に対してやや高い指標となっています。 (原因)本市においては、福島県人事委員会勧告の内容を基に給料表の改定を行っていたため、国を上回る改定となっていることや職員の年代ごとの給与バランスを図るため、給料表の号給を増設していることがラスパイレス指数の上昇要因となっています。	( )					☀ (向上)
							目標達成度 ---

### 基本事項02 職員資質の向上

指標	優秀な人材が確保されていると思う職員の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【人事課】	%	81.5	79.2	81.3	→
評価	(状況)優秀な人材が確保されていると思う職員割合は81.3%で、前年度と比べ2.1ポイント向上しています。職位別では、係長以上は82.4%台である一方、係員では76.6%に留まっています。 (原因)若干割合は向上しており、おおむね80%の職員が優秀な人材を確保していると考えています。また、係長以上と係員との意識において、係員の方が低い状況にありますが、これは組織内での職責の明確化に改善の余地があるものと考えられます。	(%)					☂ (低下)
							目標達成度 ---

### 基本事項03 計画行政の推進

指標	行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【企画財政課】	%	45.5	49.1	58.6	→
評価	(状況)行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合は58.6%で、前年度と比べ9.5ポイント向上しています。職位別では、係長以上が62.0%である一方、係員が最も低く56.9%に留まっています。 (原因)職位別の向上率では係長が17.5ポイントと最も高く、係員は7.1ポイントとなっています。行政評価制度については、段階的に評価手法を改善しながら予算と評価の連携を図っているため、その理解度が徐々に上がってきているものの、全体的には約6割程度の理解であるため、引き続き、行政経営情報の共有化を推進する必要があります。	(%)					☀ (向上)
							目標達成度 ---

### 基本事項04 自主財源の確保と受益者負担の適正化

指標	市税収納率（現年分）の県13市平均との差異	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【収納課】	%	0.1	0.2	0.3	→
評価	(状況)市税収納率（現年分）の県13市平均との差異は0.3%で、前年度と比べ、0.1ポイント上昇しました。各市における収納状況は、地域の経済状況等が異なっており、一概に比較はできませんが、平均値を上回っているため県内では収納率は高い水準にあると考えられます。 (原因)市税収納率（現年分）は平成27年度が99.0%、平成28年度が99.2%と、前年度より収納率は向上しており、県内13市平均が9.9%となったことから、指標値の差異は上昇しました。	(%)					☀ (向上)
							目標達成度 ---

## 基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	行政サービスの向上
基本事項 02	職員資質の向上
基本事項 03	計画行政の推進
基本事項 04	自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05	持続可能な財政運営の推進

### 基本事項04 自主財源の確保と受益者負担の適正化

指標	使用料・手数料が見直された件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
	【企画財政課】	件		-	-	→		
評価	(状況) 使用料・手数料の見直しは3年ごとに実施しています。前回は平成24年度に実施しましたが、それ以降は実施を見送っています。 (原因) 見直しにあたっては、新庁舎や市民交流センターにおいて使用料の設定が予定されていたことや財務諸表等を活用した全庁的な統一基準策定に向けた準備を進めているなどの理由から見送っています。						目標 達成度	---
								---

### 基本事項05 持続可能な財政運営の推進

指標	実質公債費比率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
	【企画財政課】	%	8.6	7.8	7.0	→		
評価	(状況) 実質公債費比率は、平成27年度と平成28年度を比べると0.8ポイント低下しています。 (原因) この指標は公債費の元利償還金に公営企業等の元利償還金に対する繰出し等を加えた実質的な公債費の一般財源が標準財政規模に占める割合を3か年平均値として示す、実質的な公債費の財政負担度合いを示すもので、本市は健全な指標を示しています。指標改善の主な要因は、利率が比較的高かった臨時地方道整備事業などの償還が進み、元利償還金が減少したことなどによるものです。						目標 達成度	---
								---

### 基本事項05 持続可能な財政運営の推進

指標	基礎的財政収支(プライマリーバランス)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
	【企画財政課】	百万円	1,582	3,377	-7			
評価	(状況) 基礎的財政収支(プライマリーバランス)は、政策的な支出を新たに借入金することなく、その年度の税収等でまかない、後年度負担に転嫁していないかを示す指標です。本市はこれまで黒字を堅持していましたが、平成28年度は赤字になりました。 (原因) 赤字となった要因は、市民交流センター整備事業などの大型事業の市債が増加したことなどによるものですが、今後も市債と繰越事業の状況により変動することが想定されます。						目標 達成度	---
								---